

環境調和型プロセス技術の開発事業

令和4年度予算額 9.3億円 (28.0億円)

事業の内容

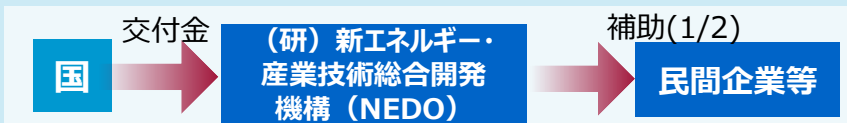
事業目的・概要

- 鉄鋼業は我が国の産業部門のエネルギー起源CO2排出のうち40%、国全体の14%を占めており、温暖化対策が喫緊の課題。
- 我が国の鉄鋼業は既に主要な省エネ設備を導入し、**世界最高水準のエネルギー効率を達成しており、更なる温暖化対策のためには革新的な技術開発が必要。**
- 本事業では、従来の製鉄プロセスでは活用できない低品位の鉄鉱石及び石炭を有効利用して製造したコークス（フェロコークス）を活用することで、**鉄鉱石の還元に必要なエネルギーを大幅に削減する革新的な技術開発を行います。**
- 事業最終年度となる令和4年度は、フェロコークスを実高炉に投入して**省エネ効果の検証する実証実験及び事業終了後の早期実用化に向けた検討を行います。**

成果目標

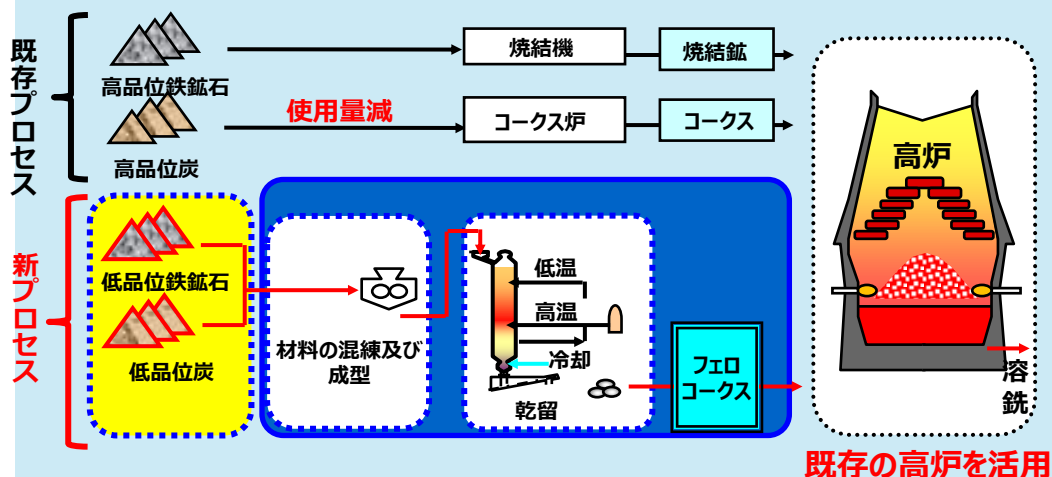
- 平成29年度から令和4年度までの事業であり、**製鉄プロセスのエネルギー消費量を約10%削減する技術の確立を目指します。**

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

フェロコークスを活用した製鉄プロセス



フェロコークスの反応メカニズム

